

防火性可とう 形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材

# SKフレックスロール<sup>®</sup>

F★★★★

ホルムアルデヒド 放散等級

準外部に適用

防火認定を持つ可とう形塗材

NM-8572/QM-9812/RM-9361

防火性可とう 形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材

# SKフレックスロール<sup>®</sup>

## 準外部に適用／防火認定を持つ可とう形塗材

近年、防火、耐火の要求はクローズアップされてきており、建築物の防火に対する審査も厳しくなっています。また、集合住宅等では内装だけではなく、準外部で防火認定が必要とされるケースもみられるようになってきました。

従来、このような部位には複合型化粧用仕上材塗り（一般名称：複層塗材Si等）が使用されていましたが、省力化と機能性面から、工期の短縮と防水性を高めた防火認定材料の開発が求められていました。

## 特長

### ● 防火認定材料

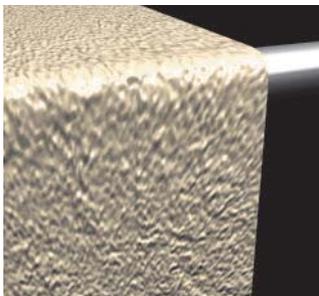
防火材料の認定を取得しています。

認定番号	区分	品目名
NM-8572	不燃材料	有機質砂壁状塗料塗り / 不燃材料
QM-9812	準不燃材料	有機質砂壁状塗料塗り / 準不燃材料
RM-9361	難燃材料	有機質砂壁状塗料塗り / 難燃材料

### ● 防水性

強靱かつ柔軟なアクリルシリコン樹脂塗膜は下地の微細なひび割れに追従し、防水性を高めます。

#### 可とう性試験

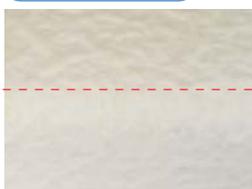


#### 試験方法

JIS A 6909 7.25 可とう性試験に準拠

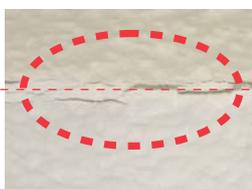
亜鉛鉄板に標準仕様に準じて塗装し、14日間静置した試験体の裏面中央に直径10mmの鋼棒を当て、塗付け面を外側にして90°折り曲げた後、表面のひび割れの有無を確認

#### 試験後の塗膜表面



SKフレックスロール

塗膜表面に亀裂が発生していない。



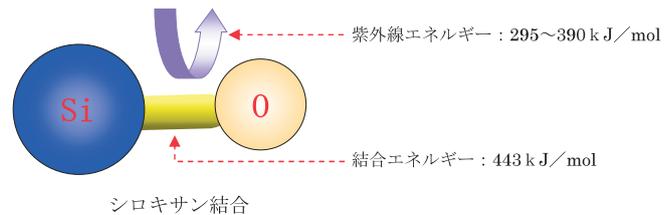
汎用複層塗材Si

塗膜表面に亀裂の発生が見られる。

折り曲げ部

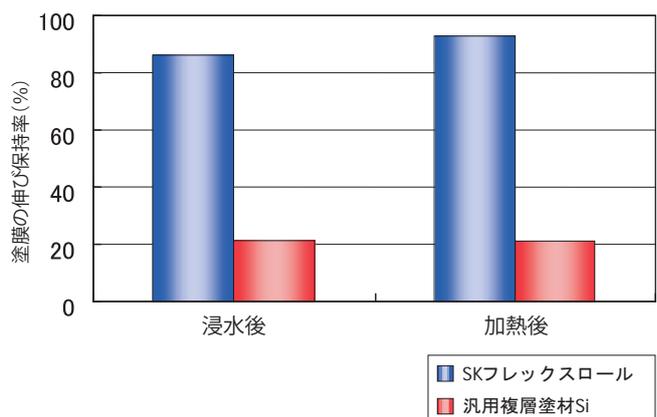
### ● 高耐候性・高耐久性

紫外線エネルギーよりも高い結合エネルギーのシロキサン結合を持つアクリルシリコン樹脂塗膜は、優れた耐候性を示し、建物を長期に亘り保護します。



また、熱や水などの劣化要因に対しても強い抵抗性があり、加熱後や浸水後においても伸び性能を維持する優れた耐久性を示します。

### 劣化試験後の塗膜の伸び保持率



#### 試験方法

伸びの測定はJIS A 6909 7.26 伸び試験を参考

23℃時の伸びを標準とし、浸水後（23±2℃の水中に7日間浸漬）および加熱後（80±2℃の恒温器に7日間静置）の伸びを測定し、標準に対する割合（保持率）を求める。





当社では、これら要望に応え、新しく防火認定を持つ可とう形塗材「SKフレックスロール」を開発しました。新時代の要求にお応えします。

(防火認定材料：壁や天井などに着火することを防ぐため、内装仕上げの不燃化、難燃化を必要としている部位に使われることを目的とした材料)

## ● 工期短縮

下塗り工程(1回)、主材塗り工程(2回)の3工程で仕上げが可能であり、複合型化粧用仕上塗材(5工程)と比較して大幅な工期の短縮につながります。

## ● 防かび・防藻性

特殊設計により長期に亘ってかびや藻などの微生物汚染を防ぎ、衛生的な環境を維持します。

## ● 安全設計

水性のため、溶剤中毒や火災の心配がなく、作業環境の向上に役立ちます。厚生労働省が指定するシックハウス対策物質<sup>※</sup>を一切、含んでいません。そのため、集合住宅の共用部などにおいても安心してご使用いただけます。

注. 本カタログ製作時における指定物質。

## ● 用途

- 集合住宅の共用部等防火認定を必要とする部位
- 準外部・外部で高耐候性、防火認定を必要とする部位

## ■ 性能試験成績表

JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形外装薄塗材Eによる物性試験

試験項目	結果	規定
低温安定性	合格	塊がなく、組成物の分離及び凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れない。
付着強さ	標準状態	1.6 0.5N/mm <sup>2</sup> 以上
	浸水後	1.5 0.3N/mm <sup>2</sup> 以上
温冷繰返し	合格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性A法	0	10.0mm以下
耐洗浄性	合格	剥がれ及び摩耗による基板の露出がない。
耐衝撃性	合格	ひび割れ、著しい変形及び剥がれがない。
耐アルカリ性	合格	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくない。
耐候性A法	合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上とする。
可とう性	合格	ひび割れない。

## ● 荷姿

- SKフレックスロール下塗材 15kg石油缶(標準塗り坪:150~187m<sup>2</sup>/缶)
- SKフレックスロール(艶消し) 16kg石油缶(標準塗り坪:16~20m<sup>2</sup>/缶)

### ● 危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

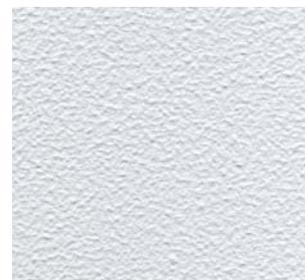
### ● 施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

## ■ パターンの種類



ゆず肌状ローラー仕上げ



SPタイル仕上げ

## 標準施工仕様

### ●ゆず肌状ローラー仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地	※1 ・下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ・付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—
1 下塗り	SKフレックスロール下塗材	既調合	0.08~0.10	1	—	2以上	—	刷毛 ウールローラー エアレススプレーガン
2 主材塗り (基層塗り)	SKフレックスロール	100	0.60~0.70	1	—	3以上	—	M-9ローラー (マスチックローラー)
	清水	0~3	—					
3 主材塗り (模様塗り)	SKフレックスロール	100	0.20~0.30	1	—	—	24以上	ウールローラー
	清水	4~8	—					

### ●SPタイル仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地	※1 ・下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ・付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—
1 下塗り	SKフレックスロール下塗材	既調合	0.08~0.10	1	—	2以上	—	刷毛 ウールローラー エアレススプレーガン
2 主材塗り (基層塗り)	SKフレックスロール	100	0.40~0.50	1	—	3以上	—	SPローラー※5 (マスチックローラー細目)
	清水	0~3	—					
3 主材塗り (模様塗り)	SKフレックスロール	100	0.40~0.50	1	—	—	24以上	SPローラー※5 (マスチックローラー細目)
	清水	0~3	—					

- ※1. ALC面、多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合には、カケンファイラー(粉体20kg袋、混和液10kg石油缶)、ミラクファンD KC-1000(粉体20kg袋、混和液5kgポリ容器)などにて下地調整を行ってください。なお、改修工事にはミラクファンD各種をご使用ください。
- ※2. 下塗りには必ず指定の材料をご使用ください。
- ※3. SKフレックスロール下塗材は、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けると共に、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- ※4. 調合は、できるだけ泡をかまないようにしてください。
- ※5. マスチックローラー細目はメーカーにより目の大きさが異なる場合があります。SPローラー以外のマスチックローラー細目をご使用の際はご注意ください。詳しくは最寄りの各営業所までお問い合わせください。
- ※6. 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- ※7. 上塗りに、イエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、あらかじめ隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
- ※8. 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- ※9. かびや藻が付着している場合は、SKKカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ※10. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※11. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ※12. 気温5℃以下での施工は、完全に硬化するまで時間を要するため、それまでに擦ると色落ちすることがあります。
- ※13. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ※14. 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※15. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※16. 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- ※17. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するために、あらかじめ塗装面の養生を行ってください。
- ※18. 塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※19. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ※20. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工は要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上とってください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※21. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。



本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733  
 東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451 福岡支店 ☎092-629-3427  
 仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043  
 東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 高松支店 ☎087-865-5411

旭川営業所 ☎0166-51-8094 水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-2400 三重営業所 ☎059-254-3777 松山営業所 ☎089-958-3780  
 仙台営業所 ☎022-259-2431 宇都宮営業所 ☎028-657-5555 横浜支店 ☎045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505  
 仙台支店 ☎022-388-8518 群馬第一支店 ☎03-3204-6601 厚木営業所 ☎046-294-3666 大宮支店 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561  
 青森営業所 ☎017-762-3855 東京支店 ☎03-3204-6602 静岡営業所 ☎054-284-1877 南大宮営業所 ☎072-253-1910 福岡支店 ☎092-622-5562  
 盛岡営業所 ☎019-654-8380 千葉営業所 ☎043-304-0413 浜松営業所 ☎053-462-7021 神戸支店 ☎078-686-0520 大分営業所 ☎097-555-9081  
 郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉支店 ☎043-304-0413 三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路出張所 ☎079-281-5311 長崎営業所 ☎095-887-0871  
 新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉支店 ☎048-686-2391 北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650  
 群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉支店 ☎048-686-1586 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島営業所 ☎082-943-5043 鹿児島営業所 ☎099-284-5321  
 長野営業所 ☎026-239-6210 埼玉支店 ☎03-3877-7770 名古屋支店 ☎052-589-8783 広島支店 ☎082-943-5053 宮崎出張所 ☎0985-61-7779  
 松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 岐阜営業所 ☎058-273-1991 山口営業所 ☎083-924-7575 沖縄営業所 ☎098-862-5041

大札幌工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先してください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店

[製作年月：2019年10月] (191000.H-1)